



地震及び津波の概要

【地震】

発生日時 平成23年3月11日(金) 14:46
震 源 三陸沖
震 度 山元町 震度6強
規 模 M9.0

【対応】

14:46 地震発生
14:47 災害対策本部設置(2号配備)
14:49 大津波警報発表
避難指示発令
15:50頃 大津波来襲



【余震の状況】

平成23年4月7日(木) 23:32 地震発生(宮城県沖・山元町震度5強・M7.2)
平成23年4月7日(木) 23:34 津波警報発表
平成23年4月8日(金) 0:55 津波警報・注意報解除

【山元町民の人的被害数(H25.1.31現在)】

死 者 633人(遺体未発見の死亡届16人及び震災関連死17人を含む)
行方不明者 1人(死亡届提出16人を除く)
重 傷 者 9人(救急搬送分)
軽 傷 者 81人(救急搬送分)

【家屋の被害(H25.1.31現在)】

全 壊 2,217棟(うち流出1,013棟)
大規模半壊 534棟
半 壊 551棟
一 部 損 壊 1,138棟



震災の前と後

— 思い出すあの頃の風景 —

巨大津波は、町から平穏な暮らしを奪っていった。
美しく穏やかだった景色も、
変わり果てた姿となってしまった。

磯浜漁港



震災の前と後

— 思い出すあの頃の風景 —

笠野学堂総合案内所



震災の前と後

— 思い出すあの頃の風景 —

牛橋公園



震災の前と後

— 思い出すあの頃の風景 —

JR 坂元駅



震災の前と後

— 思い出すあの頃の風景 —

JR 山下駅



震災の前と後

— 思い出すあの頃の風景 —

八重垣神社



3月11日14時46分
震度6強の揺れが
平穏な町に襲い掛かった
3.11



激しい揺れによって倒壊した家屋（山下地区）



崩落した斜面の土砂に車が巻き込まれている（太陽ニュータウン）



町内のあちこちで地割れが発生



物が散乱する役場庁舎内の様子



震度6強を示した震度計



津波によって破壊された線路 (写真提供：菅野哲也氏)

町を襲った大津波は
あらゆるものを破壊して
持ち去ってしまった……



倒された電柱 (写真提供：菅野哲也氏)



水が引いた後に残されたがれきや車 (写真提供：菅野哲也氏)



破壊された JR 坂元駅



土台だけが残された踏切 (写真提供：菅野哲也氏)



津波襲来後の山元町(町地区)の様子 (写真提供：菅野哲也氏)

救助・搜索活動

全国各地から山元町に駆け付けた自衛隊、緊急消防援助隊による懸命の救助・搜索活動が連日続けられた。

派遣された自衛隊員は平成23年3月11日から8月1日まで、延べ11万6209人。第10特科連隊、第10後方支援連隊、施設、衛生などの各隊が様々な支援活動を展開した。

緊急消防援助隊は巨理消防隊、仙南広域隊など県内をはじめ、全国からも愛知、兵庫、奈良、福岡等の各県隊が活動を開始。4月26日までに延べ6170人が、被災した住民や行方不明の住民らの救助・搜索活動にあたった。

国道6号線から海岸方面に向けては、津波に押し流された大量のがれきを撤去しながらの作業となったが、地元消防団と協力しながら、被災者の救出と搜索が進められた。

ほかにも避難所における炊き出し、診療所や仮設入浴施設「尾張の湯」の開設など、民生支援は多岐にわたった。



消防団と協力して搜索を行う様子

自衛隊 第10特科連隊



一箇所ずつ丁寧に捜索を進めていく様子



消防隊と共に上空からの捜索に向かう様子



水が残る中を捜索に向う隊員達



建物内を捜索する様子



手作業でがれきの中を捜索する様子



水没した地域を搜索する隊員達

自衛隊 金沢駐屯地



一面がれきと化した中を搜索する隊員



海岸の搜索



建物内の搜索



流された車両内部の搜索



がれきの中を搜索する隊員達



搜索の様子・鶏飼作戦



黙祷



搜索終了の標旗

緊急消防援助隊



積み重なったがれきの内部を捜索する様子



車両を解体しながら捜索を行う様子



がれきの中を捜索する隊員達



浸水した地域を捜索する様子



状況の説明を受ける様子



捜索に向かう隊員達



見落としが無いよう一列になって捜索を始める様子



一箇所ずつ丁寧に捜索を進める様子

巨大津波が残していったもの

大地震とそれに伴う巨大津波は町に未曾有の被害をもたらした。

津波の高さは地域によって6〜12メートル、山際など津波が高くなる地形の場所では、それ以上の高さになったところもあった。浸水距離は内陸2〜3キロ、浸水範囲面積は24平方キロメートルで、町総面積の37・2%に上った。

死者、行方不明者は630人を超え、4000棟を越える家屋が全半壊、一部損壊した。住民の通勤・通学、生活の足となっていたJR常磐線や山下駅、坂元駅も壊され、平成25年に入っても開通には至っていない。学校や公共施設、商店、漁港の建物、付帯施設なども次々に津波によって破壊され、被害を受けた。

津波が引いた後には大量のがれきりや土砂が残され、救助活動や住民の日常生活上の大きな障害となった。特に被災地での救助と捜索活動の際には、まず始めにがれきりや土砂の撤去作業をしなければならなかったため膨大な時間と人員が必要になった。

山元町の海岸周辺の風景は一変した。震災前は、藩政時代からの防潮林がブラインドの役割を果たしていたために見えなかった海岸線が国道6号線から見えるようになった。同時に再建された新しいイチゴのビニールハウスや、復旧作業中の重機が目立つ。平成25年3月現在、がれきりや土砂の撤去はほぼ終了したが、津波によって一変してしまった山元町の風景は、今も住民の記憶の中に強く残る。



花釜地区周辺 (2011.3.22)



山下第二小学校 (2011.3.23)



山下第二小学校 (2011.3.23)

牛橋公園・牛橋樋門周辺



牛橋球場 (2011.3.28)



牛橋公園 (2011.3.28)



牛橋公園周辺 (2011.3.28)



牛橋樋門周辺 (2011.3.28)



牛橋樋門周辺 (2011.3.28)

JR 山下駅・東保育所周辺



JR 山下駅 (2011.3.23)



東保育所



東保育所



東保育所建物内



東保育所建物内

八重垣神社周辺



八重垣神社 (2011.3.28)



八重垣神社周辺 (2011.3.28)



八重垣神社周辺 (2011.3.28)



八重垣神社周辺の景色 (2011.3.28)

戸花橋周辺



戸花橋 (2011.3.28)



戸花橋周辺 (2011.3.28)



戸花橋周辺 (2011.3.28)



戸花橋 (2011.3.28)

JR 坂元駅・町区周辺



JR 坂元駅 (2011.3.20)



町区周辺 (2011.3.16)



町区周辺 (2011.3.16)



町区周辺 (2011.3.16)



町区周辺 (2011.3.16)

中浜小学校周辺



中浜小学校周辺



中浜小学校 校舎



中浜小学校 体育館



中浜小学校 体育館内部



中浜小学校 校舎

木ノ岡・水神沼周辺



木ノ岡周辺 (2011.3.28)



水神沼周辺 (2011.3.28)

上空から見た山元町



新浜～笠野方面 (2011.3.19)



中浜～磯方面 (2011.3.19)

上空から見た山元町



中浜・常磐自動車学校付近 (2011.3.19)



中浜・中浜小学校付近 (2011.3.19)